
輪廻・転生

如月ゆり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

輪廻・転生

【Nコード】

N6042C

【作者名】

如月ゆり

【あらすじ】

生まれ変わっても好きでいる。そのとき貴方はどうやって傍にいますか？

(前書き)

短編小説のような詩のようなモノに成り果てました。

どうして。

「泣かないで」

誰か嘘だと言って。

「ずっと、ずっと傍にいるから」

あなたが何故死ななければならぬの？

「幾度時が巡ろうとも」

置いていかないで。

「何度生まれ変わろうとも」

私を独りにしないで。

「ずっと君を見つめている」

でもあなたは消えてしまう。

私はひとりになってしまう。

「ずっと、ずっと…見つめているから」

そんな事言わないで。

それでも寂しい事に変わらない。

「君が闇に捕らわれる時は必ず導いてあげるから」

神よ、あなたは何度私の願いを叩き潰せば気が済むの？

「僕が照らしてあげるから」

お願い、望むものはただ一つなの。

「君が僕を本当に忘れない限り一緒にいることはできるから」

私の大切なものを奪わないで。

「だから、泣かないで」

私の大切な人が消えてしまう。

「それとも、君は覚えていてくれないかな。僕のことを」

そんな訳ない。

忘れられる筈が無い。

今日も

明日も

明後日も

私が死んで、

時空を飛び越えて、

生まれ変わったその先でも

ずっとあなたを愛してる。

あなただけを。
ずっと、ずっと。

「愛しているよ…」

ありがとう。
さようなら。

そして

『おやすみ……愛しい人』

塾帰りにいじっていた携帯を閉じると
まるで闇に抱きしめられたかのように
私は真っ暗闇の中。

街灯までまだあと少し。
暗いのも、独りも嫌い。
誰か、誰か。
私を独りにしないで。

その時

ふと見つめた足元に自分の影。
光を求めて見上げると
空には大きな月がひとつ。

そうか。

あなたは照らしてしてくれたんだね。
導いてくれたんだね。
ずっと、傍にいてくれたんだね。
お月様。

何だ。

ずっと独りなんかじゃなかった。

急に笑いがこみ上げてきて
月に向かって言い放つ。

「愛してるわ、お月様」

時空を超えたその先でも、ずっと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6042c/>

輪廻・転生

2010年10月16日00時41分発行